



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月13日

上場会社名 株式会社紀文食品

コード番号 2933 URL <https://www.kibun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堤 裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員グループ統括室長 (氏名) 上野 勝

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-6891-2600

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (％表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	48,864	2.3	413	—	833	—	1,053	—
2025年3月期中間期	47,759	0.8	546	405.4	440	—	55	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 1,339百万円 (—％) 2025年3月期中間期 303百万円 (—％)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	46.14	—
2025年3月期中間期	2.45	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	74,097	19,427	25.5
2025年3月期	72,406	21,268	28.7

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 18,905百万円 2025年3月期 20,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期(予想)			—	23.50	23.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	115,626	6.2	5,020	11.2	4,450	6.2	3,000	15.9
								131.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有
新規 ― 社（社名） 、 除外 1 社（社名）（株）紀文西日本
当社は、2025年4月1日を効力発生日として当社完全子会社である（株）紀文西日本を吸収合併いたしました。
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
以外の会計方針の変更：無
会計上の見積りの変更：無
修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	22,829,781 株	2025年3月期	22,829,781 株
期末自己株式数	2026年3月期中間期	106 株	2025年3月期	61 株
期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	22,829,678 株	2025年3月期中間期	22,829,720 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益又は 営業損失(△)	経常利益又は 経常損失(△)	親会社株主に帰属 する中間純損失 (△)
2026年3月期中間連結会計期間	48,864	△413	△833	△1,053
2025年3月期中間連結会計期間	47,759	546	440	△55

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用や所得環境の改善により景気は緩やかな回復が見られました。その一方で、米国の通商政策の影響や、物価の上昇による消費者マインドの下振れなどが懸念され、先行きに対する不透明感が続いております。

このような環境下において、当社グループでは、「中期経営計画2026」の2年目として、目標である『持続的に成長できる強固な企業体質の構築』の達成に向け、引き続き既存事業領域における確実な成長と、事業領域の拡大により成長を図る『成長戦略の推進と新たな価値創造』に取り組んでおります。また、成長を促進させる収益構造に向けた『資本効率の改善』と、今後の成長を支える『経営基盤の整備』に注力しております。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は48,864百万円と前年同期比1,105百万円の増収(前年同期比2.3%増)となりました。一方、さまざまな原材料費の上昇、海外食品事業における売上減少に伴う生産効率悪化、運送費や広告宣伝費の増加などにより、営業損失は413百万円と前年同期比959百万円の減益、経常損失は833百万円と前年同期比1,274百万円の減益となりました。また、親会社株主に帰属する中間純損失は1,053百万円と前年同期比997百万円の減益(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失55百万円)となりました。

なお、当社グループの売上高・営業利益は、主力商品であるスリミ製品・惣菜が冬季におでん・鍋物等に向けての需要が高まることと、12月におせち料理関連商品の売上が集中するため、第3四半期に偏重する傾向にあります。前期及び当期における当社グループの各四半期での売上高及び通期の売上高に対する割合、営業利益は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2025年3月期 前連結会計年度				2026年3月期 当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高 (通期割合)	23,111 (21.3%)	24,648 (22.6%)	34,996 (32.1%)	26,155 (24.0%)	24,874 (21.5%)	23,989 (20.7%)	—	—
営業利益又は 営業損失(△)	451	94	3,280	686	359	△773	—	—

(注) 当連結会計年度の売上高の通期割合については、通期業績予想に対する割合を記載しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（国内食品事業）

国内食品事業では、国内において食品の製造及び販売を行っております。

売上面では、小売部門（BtoC向け）、商事部門（BtoB向け）いずれも前年同期に比して伸長しました。小売部門では、良質なたんぱく質が手軽に摂取できるヘルシーフードとして、主力であるスリミ製品の魅力を店頭やSNS等でのプロモーションを通して訴求したことで、カニカマや生竹輪、はんぺんを中心にカテゴリー全体で伸長しました。さらに惣菜カテゴリーも、中華シリーズが牽引し、伸長しました。

商事部門では、食品メーカーや外食産業に向け、米糠油や大豆、玄蕎麦等の農水産品が好調に伸長しました。

利益面では、冷凍すり身を中心に原材料価格が前年度から上昇を続けていることや、運送費、人件費、広告宣伝費等が増加したこと等により、減益となりました。なお、原材料価格や物流費などのコスト上昇分への対策として、秋冬商戦に向け9月1日から商品の価格改定を実施しております。

この結果、当セグメントの売上高は32,974百万円と前年同期比804百万円の増収（前年同期比2.5%増）となり、セグメント損失は1,214百万円と前年同期比925百万円の減益となりました。

（単位：百万円）

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント 損失（△）	売上高	セグメント 損失（△）
中間連結会計期間	32,170	△289	32,974	△1,214

（海外食品事業）

海外食品事業では、海外において食品の製造及び販売を行っております。

売上面では、米国の通商政策の不透明感、中国経済の不振の継続、各国のインフレによる消費者の節約志向から、第1四半期で回復傾向が見られた米国、中国での販売も勢いを失い、減収となりました。

利益面では、売上高の減少と、これに伴いタイ工場の生産効率が大きく悪化したことにより、減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5,421百万円と前年同期比350百万円の減収（前年同期比6.1%減）となり、セグメント利益は164百万円と前年同期比324百万円の減益となりました。

（単位：百万円）

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント 利益	売上高	セグメント 利益
中間連結会計期間	5,771	489	5,421	164

(食品関連事業)

食品関連事業では、国内において食品の運送、その他食品に関連した事業を行っております。

売上面では、当セグメントの中心である物流事業において、引き続き新規顧客の獲得や、インバウンド需要で好調な外食産業向けの物量増、飲料・食品メーカー等の既存顧客の販促効果に伴う物量が増加したことで、増収となりました。

利益面でも、燃料費や人件費など、輸送全般におけるコストの増加等のマイナス要因がありましたが、物量増や料金改定、共同配送の積載率向上や配送コースの見直し、構内作業の自動化の推進等による効率化が寄与し、増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は10,469百万円と前年同期比651百万円の増収（前年同期比6.6%増）となり、セグメント利益は562百万円と前年同期比252百万円の増益（前年同期比81.7%増）となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
中間連結会計期間	9,817	309	10,469	562

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は74,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,691百万円増加しました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ47百万円減少し、31,178百万円となりました。これは主に年末に向けた生産により商品及び製品が1,608百万円増加、仕掛品が911百万円増加、流動資産の「その他」に含まれる未収消費税等が188百万円増加した一方、現金及び預金が2,269百万円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が539百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,738百万円増加し、42,919百万円となりました。これは主に有形固定資産その他に含まれるリース資産が1,002百万円増加、退職給付に係る資産が611百万円増加したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は54,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,532百万円増加しました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,231百万円増加し、29,320百万円となりました。これは主に運転資金の調達により短期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ300百万円増加し、25,349百万円となりました。これは主にリース債務が増加した一方、長期借入金が増加し、繰延税金負債が増加したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は19,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,840百万円減少しました。これは主に利益剰余金が1,509百万円減少、為替換算調整勘定が428百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は25.5%（前連結会計年度末は28.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績につきましては、2025年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,799,179	6,529,552
受取手形、売掛金及び契約資産	10,914,868	10,375,010
商品及び製品	8,029,925	9,638,395
仕掛品	355,637	1,266,647
原材料及び貯蔵品	2,239,948	2,157,794
その他	899,104	1,224,768
貸倒引当金	△12,965	△13,540
流動資産合計	31,225,698	31,178,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,541,117	5,325,338
機械装置及び運搬具（純額）	2,386,513	2,862,262
土地	5,746,796	5,733,934
その他（純額）	4,279,637	5,146,451
有形固定資産合計	17,954,065	19,067,987
無形固定資産	254,431	193,431
投資その他の資産		
投資有価証券	2,367,432	2,390,156
退職給付に係る資産	19,491,364	20,103,097
繰延税金資産	104,956	101,727
その他	1,012,263	1,066,398
貸倒引当金	△3,662	△3,662
投資その他の資産合計	22,972,353	23,657,717
固定資産合計	41,180,850	42,919,136
資産合計	72,406,549	74,097,764

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,957,373	9,298,057
短期借入金	3,064,265	6,688,157
1年内償還予定の社債	1,035,560	1,085,560
1年内返済予定の長期借入金	5,151,530	5,095,334
未払法人税等	589,267	402,141
賞与引当金	935,968	1,197,961
その他	5,355,629	5,553,745
流動負債合計	26,089,595	29,320,958
固定負債		
社債	3,079,040	2,986,260
長期借入金	12,003,682	11,731,272
繰延税金負債	5,966,106	5,816,880
退職給付に係る負債	285,246	279,006
資産除去債務	346,070	339,932
その他	3,368,585	4,196,149
固定負債合計	25,048,730	25,349,500
負債合計	51,138,326	54,670,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,368,788	6,368,788
資本剰余金	1,942,988	1,942,988
利益剰余金	9,878,617	8,368,747
自己株式	△77	△125
株主資本合計	18,190,316	16,680,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	387,582	458,741
繰延ヘッジ損益	△24,733	2,433
為替換算調整勘定	1,141,199	712,697
退職給付に係る調整累計額	1,053,590	1,051,616
その他の包括利益累計額合計	2,557,639	2,225,488
非支配株主持分	520,266	521,418
純資産合計	21,268,223	19,427,305
負債純資産合計	72,406,549	74,097,764

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	47,759,287	48,864,589
売上原価	37,658,728	39,354,616
売上総利益	10,100,558	9,509,973
販売費及び一般管理費	9,554,322	9,923,438
営業利益又は営業損失(△)	546,236	△413,465
営業外収益		
受取利息	8,306	15,679
受取配当金	24,731	28,511
持分法による投資利益	37,690	41,658
為替差益	141,576	-
その他	18,503	29,443
営業外収益合計	230,809	115,291
営業外費用		
支払利息	286,215	360,872
為替差損	-	66,069
その他	50,046	108,541
営業外費用合計	336,262	535,483
経常利益又は経常損失(△)	440,783	△833,657
特別利益		
固定資産売却益	1,014	10
投資有価証券売却益	13,502	71,687
特別利益合計	14,517	71,698
特別損失		
固定資産除売却損	4,438	10,007
投資有価証券売却損	5,022	11,350
減損損失	74,926	65,463
特別損失合計	84,386	86,820
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	370,914	△848,779
法人税、住民税及び事業税	339,079	353,343
法人税等調整額	62,707	△195,191
法人税等合計	401,787	158,151
中間純損失(△)	△30,873	△1,006,931
非支配株主に帰属する中間純利益	25,108	46,343
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△55,981	△1,053,275

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△30,873	△1,006,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,922	70,547
繰延ヘッジ損益	△46,512	27,167
為替換算調整勘定	528,447	△436,765
退職給付に係る調整額	△130,574	△2,773
持分法適用会社に対する持分相当額	13,085	9,306
その他の包括利益合計	334,524	△332,518
中間包括利益	303,651	△1,339,449
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	282,033	△1,385,426
非支配株主に係る中間包括利益	21,618	45,976

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食品事業	海外食品事業	食品関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	32,170,093	5,771,806	9,817,387	47,759,287	-	47,759,287
セグメント間の内部売上高 又は振替高	920,113	2,000,064	2,876,315	5,796,492	△5,796,492	-
計	33,090,206	7,771,870	12,693,702	53,555,780	△5,796,492	47,759,287
セグメント利益又は損失(△)	△289,633	489,123	309,345	508,835	37,400	546,236

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額37,400千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内食品事業」及び「食品関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては、「国内食品事業」57,147千円、「食品関連事業」17,778千円であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食品事業	海外食品事業	食品関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	32,974,248	5,421,201	10,469,139	48,864,589	-	48,864,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	998,461	1,854,052	3,045,483	5,897,997	△5,897,997	-
計	33,972,710	7,275,254	13,514,623	54,762,587	△5,897,997	48,864,589
セグメント利益又は損失(△)	△1,214,726	164,785	562,075	△487,866	74,400	△413,465

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額74,400千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内食品事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては、「国内食品事業」65,463千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。